

市教育委員会は、令和8年7月8日付で

新たに市指定有形文化財（考古資料）1件を

指定しました。

ゆざわの文化財

名称 は だち い せきしゅつ ど こくようせきせいしやり 羽立遺跡出土黒曜石製石槍 1点



羽立遺跡出土黒曜石製石槍

羽立遺跡は駒形町八面集落に位置し、昭和以前から石器などが多数出土しています。同遺跡からは、縄文時代前期から後期と幅広い時期区分の石器が出土しており、この石槍は縄文時代前期から中期のものと考えられます。

また、この石槍は、大型の黒曜石を打ち欠き全体的に非常に薄く作られ、表裏全面に直接打撃法による二次加工が施されています。

石槍下部の突起は、槍の柄の部分とこの石槍を固定するために作られた部分と考えられます。大仙市や山形県南東部の遺跡からも下部に突起を持つ石槍が発見されていますが、この石槍はどちらの特徴にも当てはまらず、周辺地域には例のない形状となっています。

さらに、湯沢地域では黒曜石が採れず、専門機関での分析の結果、この石槍は北海道中央東部の置戸町産の黒曜石から作られていると判明しています。

このことから、形状に独自の特徴を持つ点、縄文時代の流通や人の交流などを解明する上で非常に重要な考古資料であると認められました。



市ホームページ
羽立遺跡出土
黒曜石製石槍

問 生涯学習課文化財保護室 (☎55-8193 ☒k-bunkazai@city.yuzawa.lg.jp)

ゆざわジオパーク



この夏は川原毛大湯滝に行こう！！

皆さんは、川原毛大湯滝に行ったことがありますか？

読みかたは、「かわらげおおゆたき」。

その名のとおり、温泉が滝となっている「湯の滝」で、上流で湧き出た温泉が沢水と混じり合って、20メートルの高さから勢いよく流れ落ちています。滝つぼは、今の季節はほどよい湯加減で、入浴すると、川原毛地獄周辺の火山の恵みを、まさに「肌で」感じることができます。

この夏、大自然の中で、ゆざわジオパークならではの特別な温泉体験をしてみませんか。



※入浴に適した時期は7月上旬から9月中旬ですが、天候や水温に十分気を付けてお楽しみください。

※シーズン中は簡易脱衣所を設置しています。水着を着用してお入りください。

※温泉は強い酸性のため、目に入るとしみたり、肌が弱い人はヒリヒリすることがあります。



現地状況など最新情報はこちらから▶



問 湯沢市ジオパーク推進協議会(観光・ジオパーク推進課ジオパーク推進班内) ☎55-8195 ☒geopark@city.yuzawa.lg.jp)